

## (仮称) 伊吹山インフォメーションセンターについて

## ◇経緯

## 【平成 28 年度第 2 回伊吹山自然再生協議会（平成 29 年 1 月 24 日）】

→上野自治会および米原市地域振興部より提案のあったインフォメーションセンター事業について、方向性は良いが、費用対効果の検証や全体としての計画の共有のため、部会で詳細を検討することという指示がなされた。

## 【平成 29 年度第 1 回伊吹山自然再生協議会入山協力金事業部会（平成 29 年 5 月 26 日）】

→インフォメーションセンターで行う事業については、入山協力金事業として業務委託により実施する方針を決定した。

→条件として、インフォメーションセンターのみならず、「伊吹山再生全体構想」（平成 21 年 3 月）で示された「地域ぐるみで伊吹山エコツーリズムの確立」に向け、利用者が自然環境の価値を学び体験できるよう、山頂と山ろくで一体的に事業を推進していくこととされた。

## ◇インフォメーションセンターの目的と役割

【目的】伊吹山再生全体構想に掲げる 3 つの目標のうちの 1 つである「地域ぐるみで伊吹山エコツーリズムの確立」の実現に向け、利用者が自然環境や保全活動に親しみ、関わることを促し、新たな賑わいの創出と自然環境保全の両立を図る。

## 【役割】

## (1) 登山者の休憩所

- ・登山客が休憩しながら会話を楽しむことのできるテラス型の休憩スペース（24h 利用可能）
- ・設置場所：伊吹山麓上野口の観光案内所跡地

## (2) 入山協力金の收受兼 P R、安全登山啓発

- ・入山協力金の收受兼 P R（窓から）
- ・安全登山啓発（登山者カードの記入指導、天候や危険個所の注意）

## (3) 情報提供、自然環境保全の発信スペース

- ・パネル展示による自然環境保全や伊吹山ローカルルールの情報発信
- ・周辺学習施設との情報連携、情報提供
- ・保全団体の紹介コーナー、保全団体同士の交流スペース

## (4) 管理・案内業務

- ・協力金の整理等の管理業務
- ・展示物やパンフレット配布等の施設管理、電話対応（忘れ物やアクセスの問合せ）

## (5) 地域振興のための独自事業（入山協力金事業外）

- ・フリースペースを活用した物販事業などの収益事業や入山協力金事業としてなじまない（均衡を図りにくい）事業は、地域で親しまれる独自事業として展開（入山協力金事業外の独自事業とし、自由な展開を促進）



イメージ



## ◇設置と運営の役割分担

### 【設置・所有】

地元自治会である上野自治会は、地域貢献、地域振興のためにインフォメーションセンターの設置を行い、設置費用（地域創生関連の補助金活用予定）と土地提供を負担する。このため、インフォメーションセンター施設は上野自治会の所有となる。

### 【運営】

インフォメーションセンターで行う事業内容は、伊吹山自然再生協議会および部会で毎年度決定し、業務委託により実施する。ただし、上野自治会として行う地域振興のための独自事業は除く（入山協力金による負担外）ものとする。

## ◇費用対効果について（部会資料より抜粋）

【必要経費見込】（詳細は平成 30 年度予算編成時に再検討。特に（C）は山頂と一体的に検討する。）

（A）物件費（建物使用料（電気代等）、備品費、消耗品費、通信運搬費）：約 462 千円～602 千円

（B）人件費（収受業務・安全登山啓発）：約 1,620,000 円

（C）人件費（情報発信・案内業務・施設管理）：約 925,200 円

### 【全体収入における割合】

入山協力金の収受にかかる業務経費は現状と同じ 12%以下を目安とする。情報発信や案内業務にかかる経費は H28 伊吹山入山協力金アンケート結果より全体の 10%以下を目安とする。

### 【効果の把握】

単純な登山者の増加ではなく、伊吹山の自然や文化に理解のある登山者（ファン）を増やすことを目的としており、定量的効果と定性的効果の両方の把握に努める。

#### （1）定量的効果

①登山者数（上野口） 目標（5年後）：約 55,000 人 基準年：約 45,000 人（H28）

②協力金の協力率（上野口） 目標（5年後）：約 80% 基準年：約 65%（H28）

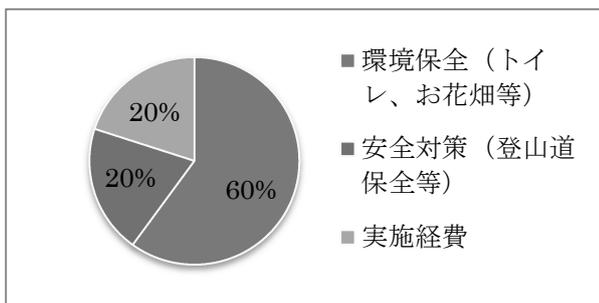
#### （2）定性的効果

①アンケートによるインフォメーションセンターの評価

②施設機能毎（事務室／展示・情報公開室／デッキ）、時間帯毎の利用者数のカウント

⇒ 伊吹山自然再生協議会入山協力金事業部会長（米原市環境保全課長）は、検証結果を踏まえ毎年度事業内容を部会に提案し、部会の承認を以て決定し、部会長の責任の下に事業を推進する。

### 【参考：H30 支出見込（センター導入後）】



### 【参考：富士山保全協力金実績（H28）より作成】

